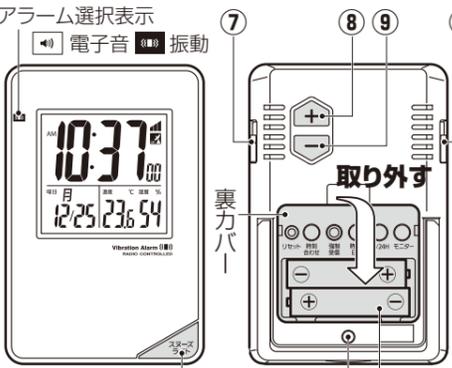


電池は付属していません。単4形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、商品と異なることがあります。



スヌーズ ———— スピーカー
ライトボタン兼用 単4形アルカリ乾電池(推奨) 2個

操作をするときは裏カバーを取り外し、操作後は裏カバーを取り付けてください。

△注意 電池の⊕⊖を指示と異なる向きに入れると電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

- ① リセット 電池をセットした直後に押す。2011年1月1日AM12:00、アラーム時刻AM6:00にセットされます。楊枝など細い棒状のもので押しください。
- ② 時刻合わせ 手で日時を合わせるときに使用。
- ③ 強制受信 受信機能がONのときに押すと受信を開始。
- ④ 時刻/日付 時刻、日付の表示位置切り替え。
- ⑤ 12/24H 時刻の表示形式切り替え。
- ⑥ モニター アラームの音や振動を試すときに使用。
- ⑦ アラームスイッチ アラーム機能のON/OFF切り替え。
- ⑧ ⊕ 手動での日時合わせ、アラーム時刻合わせ。押しすぐ離す 押し続ける
- ⑨ ⊖ 1つ進む 早送り
- ⑩ ⊖ 1つ戻る 早戻し
- ⑩ アラーム選択 電子音または振動を選択。

1 使いはじめるとき 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、「**手動での時刻合わせ**」をお読みください。

電波を受信しやすい際などに置いてください。アラーム選択が電子音になっているときは、電池を入れたときやリセットを押すと「ピ」と鳴ります。

- ① 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を2個入れる
- ② リセットを押す
 - ※受信中はボタンに触れないでください。
 - ⊕ または ⊖ を押すと受信を中止します。
 - ※誤作動を防ぐため、必ずリセットを押してください。
- ③ 20分待つてから受信結果を確認する
 - 受信マークが点灯していれば受信成功です。消灯しているときは「標準電波を受信できないとき」をお読みください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下、ビルの谷間、ビルの中など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波を受信できないとき

- 朝までそのまましておく
 - 一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく
 - と受信できる可能性が高くなります。

- 場所を変える／受信をやり直す
 - 電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットを押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って年(西暦)、月、日、時、分の順に合わせてください。

⊕ または ⊖ で数値を合わせて時刻合わせを押します。時刻合わせを押すと次の項目に進みます。⊕ と ⊖ は、押しすぐ離すと1つ単位に、押し続けると数値が早く変わります。

操作例 2023年12月25日 午前10:37に合わせる

年(西暦)が点滅するまで時刻合わせを約2秒間押し続けて設定状態にします。

※対象が点滅します。

- ① 年を合わせる
- ② 月を合わせる
- ③ 日を合わせる



- ④ 時を合わせる
 - ⑤ 分を合わせる
- 分のときに⊕ または ⊖ を押すと秒が00になる。
- 以上で設定が出来ました。

- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 手動で日時を合わせても、受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を修正します。
- 時間精度はクォーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う

アラーム時刻を合わせる

- ① アラームスイッチをOFFにする
- ② ⊕ または ⊖ を押しすぐ離す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
- ③ ⊕ または ⊖ でアラーム時刻を合わせる
- ④ 約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

アラームスイッチのON/OFF設定

- ON: 設定時刻にアラームが作動する。アラーム時刻と(●)を表示。
- OFF: アラームを止める、作動させない。

アラームの選択

電子音または振動のいずれかを選択。

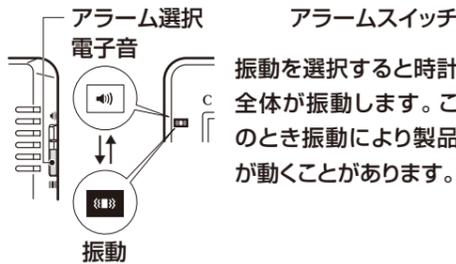
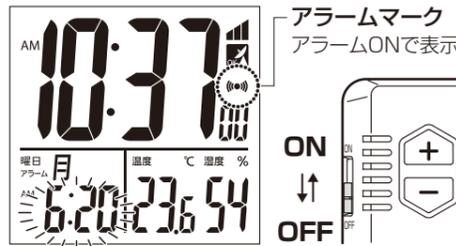
オートストップ機能(自動停止)

アラームは2分で自動停止します。

スヌーズ機能(止めてもまた作動)

アラームが作動しているときに、スヌーズを押すと、5分間アラームが停止してからまた作動します。停止中はアラームマークが点滅します。スヌーズは7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズを押すとアラームは止まります。

12時間表示のときはAM(午前)/PM(午後)の表示に注意



アラームを試すには

モニターを押すと2分間アラームが作動します。途中で止めるには、再度モニターを押してください。

受信中やアラーム、日時の設定中は使えません。

アラームご使用上の注意

アラームスイッチがONのままでは、毎日アラームが作動します。

3 温度・湿度について

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。直射日光が当たる所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、これらの影響を受けやすくなります。湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでてきます。また、設置する高さによっても温度・湿度が変わります。※ポケットなどに入れて携帯したときや手で持ったままのときは、測定に人体の影響を受けます。※本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。※厳密な温度、湿度の管理や商取引には使えません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

- 温度「HH.H」50℃を超える高温 「LLL」-9.9℃未満の低温
- 湿度「HH」95%を超える多湿 「LL」20%未満 「--」測定不可(温度が5~50℃の範囲外)

4 表示形式を切り替える

- 12/24Hを押すとAM(午前)/PM(午後)付12時間表示と24時間表示が切り替わります。
- 時刻/日付を押すと時刻と日付の表示位置が入れ替わります。



AMまたはPMが表示されているときは12時間表示です。24時間表示は00:00 00~23:59 ss。

次の状態のときは、表示の切り替えは出来ません。電波の受信中、アラームの作動中、スヌーズ状態、アラーム時刻または日時の設定中。

5 表示面を照明する

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。照明をしたときは、時計上方より見てください。※明るい所では、照明の効果は確認できません。

6 設置について

時計を立てて使用するとき、スタンドを右図のように引き起こしてください。転倒や落下を防ぐため、水平で振動の少ない所に置いてください。



△注意 スタンドに無理な力を加えると、外れたり破損したりします。

注意 電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、アラームが作動しなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 動いていても1年に1回指定の電池に交換する。

電波受信機能のON/OFF操作 アラーム選択を電子音に切り替えてください

受信機能 OFF (日時を標準電波で修正しない) リセットを約1秒間隔で3回押してください。

- 「ピ」と鳴ってから押しってください。
- OFFになると「ピ」と鳴りません。
- 日時は手動で合わせてください。
- ※受信機能は、回路内に電荷がなくなるとONになります。
- ※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する) ⊖ を押しながら、リセットを押して離すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後「ピ」と鳴って受信を開始します。その後に⊖ を離してください。定期的に標準電波を受信して標準時刻に合わせます。

リセットと強制受信

リセットは、電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。2011年1月1日、午前12:00、アラーム時刻が午前6:00にセットされ、受信機能がONのときは受信を開始します。強制受信は、場所を移動したときなどすぐに受信を開始するときに押します。受信に失敗しても日時を継続します。